

いたくら 議会だより

今月の
主な内容

- ◆議長・副議長就任あいさつ …… 2 P
- ◆新しい議会構成 …… 3 P
- ◆みなさんの代表12人 …… 4 P
- ◆3月定例会・議案審議 …… 6 P
- ◆一般質問 …… 12 P
- ◆町政へ一言 …… 18 P

2019 6 / 1

第149号



群馬の水郷 揚舟 谷田川めぐり
柳山の新緑 ゆっくりと流れる時間を感じて

議長に延山宗一氏 副議長に市川初江氏が選出されました



平成31年4月30日に任期満了となる町議会議員の選挙が4月21日(日)に行われ、当選した新議員12人では初となる令和元年第1回板倉町議会臨時会(初議会)が、5月14日(火)に開催されました。

初議会では、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に延山宗一氏が、副議長に市川初江氏が選出されました。

その後、各常任委員会の委員及び議会運営委員会の委員の選挙が行われました。

また、町から提出された同意1件、承認2件、条例の一部改正議案1件の計4件の審議を行い、いずれも原案どおり可決となりました。

- ◆同意事項◆
●板倉町固定資産評価員の選任について
- ◆専決処分事項◆
●専決処分事項の承認について(板倉町税条例等の一部を改正する条例)
- 専決処分事項の承認について(板倉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- ◆条例一部改正議案◆
●板倉町税条例の一部を改正する条例について

議長・副議長就任あいさつ

副議長 市川初江
人に優しく、温かい
町づくりを目指して



議長 延山宗一
少子高齢化社会に
対応した町づくりが急務

このたびの臨時議会におきまして議長に選任されました。誠に光栄であり、責務の重大さを痛感しております。町民から信頼される議会を目指して職責を果たして参りたいと存じます。

議会の使命は住民の立場に立つて、具体的な政策の最終決定と行財政運営の監視、意思決定にあります。議員は住民の代表者であり、奉仕者です。町民の声と心を受け止め、地域社会の活力、発展に努めなければなりません。

町の課題として安全安心の町づくりがあります。災害は

このたび、臨時議会におきまして副議長に選任されました。職責を全うするよう努力精進して参ります。

町では急速に少子高齢化が進行している現状です。議会の活性化と開かれた議会の実現を目指して議会が一体となり、取り組みを進めて参ります。

また、議会が住民の声を聴き、町政の監視機能を徹底し、町づくりのための政策立案、政策提言機能の強化に努める必要があります。そのために

いつでも、どこでも、どこからでも発生します。町ぐるみで地域防災力を高めることや自主防災機能の充実、住民への理解や教育など、それぞれの立場で理解を深めていく必要があります。

また、今急速に進む少子高齢化社会に対応した町づくりが急務となっております。小学校再編後の廃校の利活用、資源化センター跡地利用など、山積する課題にしっかりと取り組まなければなりません。

町民皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

は、幅広い層の男性や女性が必要として参加し、多様な考えや意見を町政に反映させることが大切です。

合併については、なぜ合併するのか。目的を見失うことなく、先を見据えて町民や子どもたちの幸せのため、後悔のないかじを切ることが何よりも大切です。

人に優しく温かい町づくりを目指して参りますので、皆さまのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

議会構成が決まりました

議会構成人事案件

- 板倉町議会議長の選挙
議長選挙については、地方自治法の規定により年長議員(青木秀夫氏)が臨時議長となり、議長の選挙を行いました。投票の結果、延山宗一氏が議長に当選しました。
- 板倉町議会副議長の選挙
議長の選挙に続いて、延山宗一新議長のもと、副議長の選挙を行いました。投票の結果、市川初江氏が副議長に当選しました。
- 各常任委員会委員の選任
板倉町議会委員会条例に規定する各常任委員会の委員については、議長が会議に諮って指名することとなっております。議員の申し合わせにより、各議員の希望を聴取し、選考委員によって選出された議員を議長が指名しました。
- ① 総務文教福祉常任委員会
② 産業建設生活常任委員会
③ 予算決算常任委員会
- 議会運営委員会委員の選任
議会運営委員については議長が会議に諮って指名することとなっております。議員の申し合わせにより、3名は各常任委員長が選任され、残りの3名は各常任委員会から1名ずつ選任された議員を議長が指名しました。
- 一部事務組合協議会議員の選挙
一部事務組合協議会議員の選挙については、議会運営委員会で選任し、議長の指名推薦により、各組合協議会議員が選出されました。
- ① 邑楽館林医療事務組合
② 館林衛生施設組合
③ 館林地区消防組合
④ 群馬東部水道企業団
- 委員長及び副委員長の選任
各委員会の委員長及び副委員長の選任については、板倉町議会委員会条例の規定により、各委員会での互選により選任されました。

議会構成

議長 延山宗一
副議長 市川初江

総務文教福祉常任委員会

- 委員長 小林 武雄
- 副委員長 本間 清
- 委員 市川 初江
- 委員 荒井 英世
- 委員 小野田 富康
- 委員 延山 宗一

議会運営委員会

- 委員長 青木 秀夫
- 副委員長 荒井 英世
- 委員 今村 好市
- 委員 亀井 伝吉
- 委員 小林 武雄
- 委員 森田 義昭

産業建設生活常任委員会

- 委員長 亀井 伝吉
- 副委員長 針ヶ谷 稔也
- 委員 青木 秀夫
- 委員 黒野 一郎
- 委員 今村 好市
- 委員 森田 義昭

一部事務組合協議会議員

- 邑楽館林医療事務組合 協議会議員 本間 清
- 館林衛生施設組合 協議会議員 針ヶ谷 稔也
- 館林地区消防組合 協議会議員 亀井 伝吉
- 群馬東部水道企業団 協議会議員 森田 義昭

予算決算常任委員会

- 委員長 森田 義昭
- 副委員長 小野田 富康
- 委員 全 議員

- 延山 宗一
- 今村 好市
- 荒井 英世



町議会議員、町執行部
が一堂に会し記念撮影
(5月14日初議会時)



当選後、初めて開催さ
れた議会臨時会の様子

今回就任された12名の議員のプロフィールをご
紹介します。紹介内容は①議席番号 ②年齢 ③
住所 ④職業 ⑤趣味 ⑥抱負の順です。

議員の任期は令和元年5月1日から令和5年4
月30日までの4年間。党派別では無所属11名、公
明党1名となっています。

なお、掲載は議席番号順です。

■ 5期 ■ 少子高齢化を見据えて



あおき ひで お
青木秀夫

議席 10番 年齢 76歳
住所 朝日野1-14-7 職業 無職
趣味 読書、スポーツ観戦
抱負 今、少子高齢化が加速化して
います。特に少子化は、深刻です。
どの自治体も、この現実はどう対応
するかが課題となっています。考え
られる対応策は、広域行政です。合
併実現に向けて努力します。

■ 3期 ■ 地域の良さを再発見



あらい ひで よ
荒井英世

議席 7番 年齢 68歳
住所 板倉2003-1 職業 無職
趣味 ゴルフ、芸術鑑賞
抱負 子育て支援、健康寿命の延伸、
雇用の確保、農業基盤整備等を推進
し、地域資源の価値発見と活用に努
め移住・定住対策を図ります。また、
情報公開や町民参加等を通して、顔
の見える議会を目指します。

■ 2期 ■ 住みやすい町づくりへ



ほん ま きよし
本間清

議席 4番 年齢 69歳
住所 岩田1262-2 職業 時計商
趣味 映画鑑賞
抱負 少子高齢化、人口減少社会が
進む中、時とともに変化していく町
の現状を皆様と共に考え、住みやす
い環境づくり、安心安全な町づくり
のため努力します。

■ 1期 ■ 災害に強い町づくり



おの だ とみやす
小野田富康

議席 1番 年齢 47歳
住所 粗谷2085 職業 農業
趣味 乗馬(最近はやっていない)
抱負 いつでも、どこにでも起こり
うる想定外の災害に対して、少しで
も被害を低減し、事前の備えを万全
にできる様、政策提言してまいります。
そして皆様の意見を町政に届ける
パイプ役として活動いたします。

■ 5期 ■ 人に優しいまちづくり



いち かわ はつ え
市川初江

議席 11番 年齢 73歳
住所 飯野1976 職業 主婦
趣味 読書、旅行、スポーツ
抱負 夢や希望の持てる町づくりを
町民の立場で、公平公正、クリーン
な町政を進め、経済や財政、教育医
療介護、福祉の推進、子育て障がい
者支援、弱者の立場に立ち、安心安
全な町づくりを目指し努力して参り
ます。

■ 3期 ■ 自立したまちづくりを



いま むら こう いち
今村好市

議席 8番 年齢 70歳
住所 大高嶋1618 職業 無職
趣味 ゴルフ、家庭菜園
抱負 ○教育・福祉・医療・介護の
充実に取り組みます。
○公共施設の再編整備と廃校となる
南・北小学校の利活用を推進します。
○産業の振興を図り自立した活力あ
るまちづくりをめざします。

■ 2期 ■ 地域の声を町政に反映



こばやし たけ お
小林武雄

議席 5番 年齢 65歳
住所 下五箇1199 職業 会社員
趣味 スポーツ観戦
抱負 人と人のつながりを大切に
少子高齢化対策、医療と福祉の充実、
農業・工業・商業・産業の活性化と
雇用確保、さらに災害に強い町づく
りの為、全力で取り組みます。

■ 2期 ■ 安心安全なまちづくり



かめ い でん きち
亀井伝吉

議席 2番 年齢 67歳
住所 海老瀬579 職業 会社員
趣味 米作り
抱負 小さな声を受け止め、暮らし
やすい町。だれも取り残さない、全
世代が生き生きと生活出来る町。い
のちを守るための防災・減災対策の
充実を、進めてまいります。

■ 4期 ■ 住みたい町を目指して



のべやま そう いち
延山宗一

議席 12番 年齢 70歳
住所 岩田2272 職業 農業
趣味 写真、旅行
抱負 少子高齢化時代、子育て世代
の負担軽減や教育支援。高齢者でも
活躍できる地域社会づくり、また健
康で幸に暮せる環境。農業の活性化
として農地の集積や土地改良の推
進、農産物のブランド化支援を目指
します。

■ 5期 ■ 活力のある町輝く未来



くろ の いち ろう
黒野一郎

議席 9番 年齢 68歳
住所 除川340 職業 農業
趣味 スポーツ、卓球、鳩レース
抱負 安心で安全な地域、さらに、
住みよく暮しやすい町づくりに、尚、
一層の努力を惜しみません。

■ 2期 ■ 活気のある街づくり



はり が や とし や
針ヶ谷稔也

議席 6番 年齢 52歳
住所 海老瀬2772 職業 農業
趣味 音楽鑑賞、ゴルフ
抱負 若者の定住に結びつく施策を
実施し、後継者問題、少子化問題の
解決につなげる。全世代が健康に過
ごし、生涯学習や文化的活動、運動
を行いながら、楽しみと活気のある
人々が暮らす町づくりを目指しま
す。

■ 2期 ■ 誰もが住みよい町に



もり た よし あき
森田義昭

議席 3番 年齢 64歳
住所 岩田884-1 職業 会社役員
趣味 読書、スポーツ
抱負 誰もが住みよいまち、と思え
る板倉町を目指し、皆様の声に耳を
傾け、持ち前の行動力で町政へと提
言し、一つ一つ具体化できるよう誠
意をもって取り組み皆様に応えてい
きたいと思えます。

平成30年度補正予算

項目	補正額 (単位:千円)	予算総額 (単位:千円)
一般会計	△159,516	6,775,221
後期高齢者医療特別会計	6,536	164,826
国民健康保険特別会計	82,560	2,283,240
介護保険特別会計	△2,999	1,297,279
下水道事業特別会計	300	186,959



平成30年度補正予算を原案可決 令和元年度予算を原案可決 一般質問に4人の議員が登壇

令和元年第1回例会定例会が、3月5日から14日までの10日間の日程で開催されました。今回の定例会では、諮問2件、条例の一部改正議案3件、事務組合の規約変更協議議案1件、平成30年度補正予算議案5件のほか、令和元年度一般会計予算及び各特別会計予算議案4件を含めた全16議案が審議され、いずれも原案どおり可決となりました。

3 / 5 (火)
議会
初日

人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員は法務大臣が委嘱するものです。令和元年6月30日をもって、1期3年の任期が満了となるため、江田常一さんと斎藤雅也さんを引き続き推薦することに同意しました。

条例一部改正

補正予算質疑

初日の本会議終了後、予算決算常任委員会を開催し、補正予算関係5議案の審査を行いました。

議案第5号 平成30年度
板倉町一般会計補正予算
(第4号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5,951万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を67億7,522万1千円とするものです。

延山委員

学校管理費のブロック塀等安全対策事業として、西小学校480万円、板倉中学校250万円を追加補正し、平成31年度に繰り越すとのことだが、状況について伺いたい。

小野田教委事務局長

西小学校に関しては、校庭南側のブロック塀に控え壁を22カ所設置することで安全を確保し、プールのブロック塀をフェンスに交換します。また、板倉中学校に関しては、以前プールのあった北側のブロック塀を同様にフェンスに

◆板倉町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
長時間労働是正のための措置として、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」の施行を受け、国家公務員においては超過勤務命令を行うことができる上限を人事院規則で定めることから、同様に条例の一部を改正するものです。

◆板倉町放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴い、専門職業人の養成を目的とする新たな

交換するものです。

針ヶ谷委員

補正予算の議案書に記載のある子どもに関する予算のほとんどで減額となっているようである。平成30年度の出生数によるものなのか。また、平成31年度予算の対応はどのように行うのか伺いたい。

橋本福祉課長

平成31年2月28日現在の出生数については、47人となっています。減少傾向ということですが、平成31年度予算についても、それを見込んでおりませんが、事業ごとに算定方法が異なるため、個別事業ごとに積算をしていくこととなります。

荒井委員

産後ケア事業に52万5,000円の追加とあるが、利用者が増えたということなのか。

小野寺健康介護課長

当初予算の段階では、邑楽郡5町における板倉町分の割り当てが、週1回の利用で年間30回ということでしたが、

な高等教育機関として、「専門職大学」制度が設けられたことから、その前期課程を修了した者を「放課後児童支援員の基礎資格を有する者」の対象として追加するものです。

◆板倉町小口資金融資促進条例の一部改正について

群馬県と連携して実施している小口資金融資制度について、売上減少等の要件を満たした場合の借換制度を継続して実施するため、群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部改正に伴い、平成15年度から継続実施している借換制度について、借換融資の申込期間を1年延長し、平成32年3月31日までとするものです。

青木委員

年度途中で週2回の利用が可能となり、利用のしやすさから、現在50回を超える利用者がおり、それにあわせて追加の補正をするものです。

◆根岸企画財政課長

(二財)渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が行うゴルフ場の収益等で借り入れの返済をしておりますので、このままの状態では、相当の期間がかかることになっていきます。

◆なお、補正予算関係5議案については、3月6日の本会議において、全会一致で原案のとおり可決となりました。

令和元年度予算を全会一致で可決

一般会計総額 55億1,700万円
特別会計総額 37億8,253万円

令和元年度一般会計及び各特別会計予算については、予算決算常任委員会において、3日間をかけて慎重に審査を行いました。3月14日の議会最終日、委員長による審査結果の報告の後、全会一致で可決となりました。予算決算常任委員会における主な質疑内容についてお伝えします。



令和元年度予算

会計区分	本年度	前年度	
一般会計	55億1,700万円	65億4,500万円	
特別会計	後期高齢者医療	1億6,380万円	1億5,829万円
	国民健康保険	21億1,942万円	21億7,947万円
	介護保険	13億 338万円	12億7,699万円
	下水道事業	1億9,593万円	1億8,666万円
合計	92億9,953万円	103億4,641万円	

一般会計55億1,700万円
支出の主な内容

- 総務費 8億8,927万円
 - ①旧庁舎解体撤去事業 ②産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業 ③移住支援事業 ④特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業
- 民生費 17億4,915万円
 - ①みつばち学童クラブ施設拡張事業 ②地域福祉計画策定事業
- 衛生費 5億905万円
 - ①緊急風しん対策事業
- 農林水産業費 3億5,129万円
 - ①小規模農村整備事業 ②農地耕作条件改善事業 ③担い手育成・就農支援事業 ④邑土営農業水路等長寿命化・防災減災事業
- 商工費 9,107万円
 - ①プレミアム付商品券事業 ②企業立地促進事業
- 土木費 4億6,315万円
 - ①町単独道路整備事業 ②宅地販売促進事業(個人紹介制度) ③道路維持事業
- 消防費 2億7,853万円
 - ①洪水ハザードマップ作成事業
- 教育費 6億9,340万円
 - ①小学校再編事業 ②社会教育施設等高圧受電設備更新事業
- 公債費 3億8,789万円
 - ①長期償還元金及び利子

新規事業・重点事業を時間をかけて予算審査

企画財政課

黒野委員

渡良瀬川及び利根川架橋整備事業の予算3万円とある。平成31年度は渡良瀬川架橋の関係が前に進むのか。現状について伺いたい。

A 中里副町長

2市1町(栃木市、加須市、板倉町)による新橋建設推進協議会の立ち上げということと調整をしましたが、道路整備手順の違いから、先に加須市と板倉町での発足となりました。事務レベルでの調査研究は引き続き行っていくということですが、ご理解をいただきたいと思います。

Q 今村委員

公共施設利用検討事業ということですが、小学校の跡地利用については、以前から再編と平行して進めるべきであると提案してきた。町内の公共施設で老朽化している施設や類似の団体と比較して足りて

いない施設などの基礎調査が必要であると考えるが、副町長の見解を伺いたい。

A 中里副町長

町内にある施設を南小学校や北小学校の跡に移転させることなども考えられますが、委員ご指摘のように、他町の事例等も調査をさせていたたきながら、活用できる範囲を今後示していきたいと考えています。

福祉課

黒野委員

保育園の保育室と事務室のエアコン設置工事費や調理室の回転釜購入費ということですが、予算が計上されている。使えるうちは使うということではなく、年数が経過したら早めに対応してほしいと思うかどうか。

A 橋本福祉課長

平成30年の夏に板倉保育園と北保育園でエアコンが急に壊れてしまい、予算流用で対応した経緯があります。今回の予算に関しては、老朽化が指摘されたということで計上

本間委員

シルバー人材センター補助事業の運営費補助金ということで500万円とある。財政的に不安定であるというが、補助金を見直すという考えはあるのか。

A 中里副町長

法人化前は町から600万円を補助していましたが、法人化に伴い、町の補助金額と同額を国が補助するというところで、町の補助金額を500万円としました。現時点での補助金額の見直しは考えておりません。

総務課

Q 荒井委員

防災士育成事業の補助金ということですが、13万2千円が計上されている。12人分の補助金とのことだが、どのような方を想定しているのか。また、現在何人の防災士がいるのか伺いたい。

【予算審査】

予算決算常任委員会を3日間開催して、新年度予算を集中的に審査しました。

新年度予算の使い道
各課・局から新規・主要・重点施策事業を中心に質疑応答を行い、委員会で採決

◆予算決算常任委員会(令和元年度予算審査)

伊藤安全安心係長

対象者は自主防災組織の役員、消防団員、地域の防災に関心のある方を想定しています。また、現在の防災士は、各消防団の分団長を経験された方ということで、16人が登録されている状況です。

青木委員

館林都市圏地域公共交通網形成計画策定事業の負担金とある。1市4町(館林市、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町)で、2年間をかけて計画を策定するということが、職員が策定をするということでのよいのか伺いたい。

中里副町長

国庫補助金を利用するということが一般的には委託になります。将来的な人口減少を踏まえて、現在の路線バスだけでなく、福祉輸送やスクーラルバス等を一体的に計画しようとするものであり、町の実情を整理した中で計画を策定していくこととなります。

住民環境課

延山委員

外来生物対策事業とある。クビアカツヤカミキリが外来生物との認識が薄く、気付かないうちに放置されていると感じている。環境破壊につながるから、町民が理解できよう真剣に取り組む必要があると思うがどうか。

山口住民環境課長

既に被害の出ている桜の木に青いネットを巻き付けるなどの対策をしています。5月、6月くらいになると成虫になって外に飛び出してくるので、その時期にあわせて広報紙などで周知をしていきたいと考えています。



▲ネットが巻かれた桜の木

健康介護課

亀井委員

福祉タクシー利用補助事業

について、実際に利用している方から、福祉タクシーでもあつても、多く利用すると負担も多くなるので利用しづらいという意見がある。別の対策を検討してほしいと思うがどうか。

小野寺介護高齢係長

福祉タクシー券を利用されている方や移動に困っている方に確認をさせていただきたいと思えます。今回はご提案という形で、回答は控えさせていただきます。

島田委員

福祉医療費支給事業の福祉医療扶助の中に16歳から18歳までの福祉医療費が計上されている。これまでの実績とけがによる入院の場合にも対象になるのか伺いたい。

小野田保険医療係長

平成29年度に入院された方が1人、平成30年度は3人となっております。けがによる入院の場合でも扶助の対象になります。

産業振興課

延山委員

農地耕作条件改善事業の城沼地区だが、受益面積77ヘクタールのうち、平成31年度は19ヘクタールの整備計画で進んでいる。今後の作業予定と負担割合の算出はどのように対応していくのか伺いたい。

伊藤産業振興課長

地元の農業委員さんなどが中心となって、地域で相談をしながら進めていくということになります。負担割合に関しては、国が5割、地元が5割となりますが、地元5割の1割を農家さんに耕うんなどの作業で負担をしていただくこととなります。

針ヶ谷委員

新規農産物研究事業として7万3千円とある。平成11年度から取り組む事業ということで、そろそろ20年が経過する。成果について伺いたい。

渡辺農政係長

ほ場の管理委託料とビニールハウスの借上料となっております。東洋大学において野菜の研究を行っておりますが、

荒井委員

群馬の水郷管理事業ということでの予算が計上されている。以前水車があった西側にもちよつとした池があり、整備されないままになっている。計画的に整備をしてほしいと思うがどうか。

伊藤産業振興課長

群馬の水郷に関して、きれいな状態を維持していくという考え方は、以前水車のあった西側の池に関しては、整備をする前に安全対策が必要であると感じています。将来的には来てよかつたと思えるような形での整備ができればと考えています。



▲群馬の水郷公園入口の様子

税務課

市川委員

毎年2人1組で滞納整理を実施していると思うが、成果について伺いたい。

長谷見収税係長

毎年秋に訪問による滞納整理を実施しています。電話催告や財産調査等も行っていますが、平成30年度の個人町民税に関して言えば、年度当初の1,970万円から2月末時点で820万円を徴収し、1,150万円に滞納額を圧縮している状況です。

都市建設課

針ヶ谷委員

国道354号の小保呂信号交差点付近については、計画 completion ということなのか。

高瀬都市建設課長

ご指摘の箇所に関しては、4車線での都市計画決定がしてあります。八間樋橋につながる道路との交差点に向かって、4車線から2車線に絞るような形になると思います。

で、また完成形ではないと思っています。



▲小保呂交差点付近の様子

今村委員

登記関係事業の予算が昨年度と比較して100万円減額となっている。未相続などが原因ということなので、一日でも早く処理すべきであると思うがどうか。

中里副町長

ご指摘のとおりであると感じています。登記事務に精通している職員が不足していることもあり、予算を減額することになりました。職員が育つまでの間ということでご理解をいただきたいと思えます。

教委事務局

針ヶ谷委員

小学校の再編に伴い、ス

小野田教委事務局長

東小学校の東側から駐車場に大型バスが進入することになります。道路の幅員が狭いため、保護者の利用を考慮し、駐車場の入り口と駐車スペースを広げる計画です。



▲東小学校東側駐車場入口の様子

島田委員

現在、海洋センター体育館の中央部分で雨漏りがしていて非常に危険である。社会体育施設管理事業の予算で改修する予定はないのか。

根岸スポーツ振興係長

雨漏りに関しては、以前調査を実施しましたが、場所を

本間委員

特定することができなかったという経緯があります。現状改修の予定はありませんが、できるだけ早い段階での改修を考えています。

小野田委員

小学校運営の芸術鑑賞負担金とある。劇団による演劇ということだと思いが、どのような内容か伺いたい。

田部井指導主事

小学1年生から6年生までということと感性に幅があると思います。また見てみたいと思えるような内容になるかと思えます。

総括質疑

今村委員

ごみの広域処理事業の館林衛生施設組合負担金については、ごみ処理施設の建設に係る公債費を返済するための負担金との説明であった。1市2町(館林市、板倉町、明和町)の間で、負担金の算出根拠が違う中で計算されたというのだが、暫定の予算という理解でよいのか。

栗原町長

以前から館林市の考え方が板倉町・明和町の考え方が違うということと議論を重ねてきた。平成19年の合意事項をもとに板倉町と明和町では進んでいくものと考えていたが、館林市では、両町の案は受け入れられないというような話になっている。そのようなことからご指摘のとおり、暫定の予算ということになる。

小森谷委員

職員の意識改革や町民への説明責任などを目的に、平成23年度から導入している行政評価制度であるが、最近若干形骸化しているように感じているがどうか。

根岸企画財政課長

行政評価制度導入の目的に事務事業の見直しや業務改善といったものもあります。対象事業が380事業、そのほとんどが国や県関係の事業となつています。形骸化しているのご指摘ですが、現在、全体的に見直し作業を進めていくということでご理解をいただきたいと思います。

一般質問

議会2日目
3月6日(水)

① 荒井 英世 議員

空き家の有効な利活用は
地域活性化と結びつけて



空き家対策について

問・空き家発生の抑制と不適切な管理に対する措置は。

答・総務課長 不適切な管理対策として、国のガイドラインにより特定空き家に該当するか判断をし、管理の状況把握と所有者への連絡を行う。また、区長等を通じて情報提供をお願いしている。

問・利活用のための空き家バンクや売り手、買い手の関係への関わりは。

答・都市建設課長 物件情報は町のホームページの中

に空き家バンク的なものを立ち上げていき、空き家の地権者、所有者にアンケートをとり、希望があるかどうか情報提供をしていく。ただ、売り手と買い手への行政としての関わりは難しいので、慎重に対応していきたい。

問・空き家対策協議会には法律・不動産関係者等がいるので、対応策は考えられないか。

答・都市建設課長 町が不動産業者、宅地建物取引業者と協定を結んで、売りたい、買いたい、借りたい方と業者を挟んで相対で話し合いをしていただく形になると思う。

問・以前に区長会に出された資料の中で、空き家の管理状況は概ね8割程度が外見上問題がないとある

問・開かれた学校運営をさらに進めるために、一定の権限を持つ合議制の機関である学校運営協議会を設置する考えは。

答・教育委員会事務局長 他市町の動向を見ながら慎重に対応していきたい。



合併協議会休止を受けて

問・合併協議会は3年間の休止となったが、町長の思いは。

答・町長 お互いの考え方を尊重して、大局的・政治的判断のもとに両首長で休止をすることが望ましいということ合意をした。互いの溝を埋めるべく互いが反省をし、再開を望むということで、3



▲合併協議会発行の「合併協議会だより」

年を一つの区切りとして合意をした。

問・協議に当たって、両市町の住民サービスに対する考え方の違いが明らかに、今後の町づくりを考える上で示唆を与えたものと思う。総括の意味で、審議・決定された協定項目について町民に具体的に知らせるべきと思うが。

答・町長 「合併協議会だより」の中で報告されているので、どの程度必要性があるのかも含めて検討をする必要がある。ただ、休止となれば、合意された事項について蒸し返す可能性もあるのでは、慎重に対応したい。

一般質問

議会2日目
3月6日(水)

② 針ヶ谷稔也 議員

町の魅力を発信し、訪れていただく
少子化の対策はプロジェクトチームで



旧庁舎の物件の移築について

問・平成31年度の主要重点施策で旧庁舎の解体撤去事業が上がっているが、平成31年度中のスケジューリングはどうなっているのか。

答・企画財政課長 地主への返還のため測量により境界を定め、協議や解体費用の算出をしていく。

問・旧庁舎の建物の中で備蓄倉庫等への再利用が可能な建物は無いか。西庁舎を役場周辺へ移築して文化財資料館として利用



▲旧役場本庁舎に隣接する旧西庁舎

問・平成31年度の主要重点施策で旧庁舎の解体撤去事業が上がっているが、平成31年度中のスケジューリングはどうなっているのか。

答・企画財政課長 庁舎は全部解体撤去の予定。町有地内にある倉庫類はそのまま利用。文化財資料館への転用は参考とさせていただきます。

問・文化交流人口を増やす施策について

答・産業振興課長 理想的だとは思いますが、現状実施は難しい状況。実現に向けて支援していく。



問・国道354号の4車線化については車両の利用増加を確認後に検討するとの回答であったが、その程度はどれほどなのか。

答・都市建設課長 24時間で9,000台以上が基準。現状計測値が4,858台(12時間)、24時間換算で6,300台である。

問・マスタープランによると沿線の開発は優良農地を保全し、商業を中心とした土地利用を計画することとなっているが、開発の計画はあるのか。

答・企画財政課長 具体的な計画はない。

問・少子化対策として各課で取り組みがなされているが効果が見えにくい。専門委員会やプロジェクトチームで重点的に対応する時期であると考えるかどうか。

答・企画財政課長 現在、各課での連絡調整で行っており、現状充分と考える。

問・合併協議会休止の町民への説明・報告は広報2月臨時号と3月24日の行政報告会で終了するのか。

答・町長 今のところその2点である。加えて参加する会合等での説明やメールによる問い合わせへの回答を考えている。

一般質問

議会 2日目
3月6日(水)

③ 亀井 伝吉 議員

命と生活を守る政策を



町内循環バスの導入について

問・高齢化が進み、免許証を返納される方が増えている。路線バスの増便や循環バスの導入は出来ないのか。

答・総務課長 路線バスについては、利便性の向上を図り見直しをするが、経費的に現状のダイヤで対応せざるを得ない。また、循環バスについては、今後の状況を見ながら経費などを検討していく。

問・福祉センター行きのバスの回数が少ないので、増



▲板倉町総合老人福祉センター行きのバス

やしてほしいと言う声があるが。

答・福祉課長 社会福祉協議会で運営しており、利用者が少なく、バスも老朽化してきたので、小型化するか、利用者の要望とかも聞いた中で、利便性が上がるよう検討していきたい。

危険なブロック塀の撤去・改修費用の一部助成について

問・民間の危険なブロック塀の撤去補修を促すためにも、改修費用の一部を助成できないか。

答・総務課長 近隣では、大泉町のみ助成を行っており。近隣市町の動向等を踏まえて慎重に判断する必要があると考えている。

板倉中学校校舎・体育館の改修について

問・調理実習室の床が傷んでいると聞いている。改修の予定はあるのか。

答・教育委員会事務局 報告がないので、実態を把握していないが調整はしたいと思う。

問・雪の降る中、授業参観で

保護者が教室に入り切れずにベランダで見ていた。また、生徒が足を滑らせて転んでしまった。周りを困うとかの対策があるのでは。

答・教育委員会事務局 去年の夏休みにベランダの床を滑らないように改修している。困いについては、2億円を超えるということでは控えていただきたい。

問・体育館にエアコン設置が無理であれば、屋根部分に断熱材を設置する工法があるか。

答・教育委員会事務局 耐震補修やアリーナの床も全部張り替え、相当な予算をつぎ込んでいます。授業や部活動での指導としての熱中症対策は十分に行っている。種目によってはちよつとの風でもプレーに影響が出てしまう。空調は今のところ考えていない。

避難所の備蓄品について

問・乳児用液体ミルクは、手軽に持ち運べて、簡単に授乳できる特徴から育児

の手間の軽減、男性の育児参加を促す効果が期待できるそうだが、日本栄養士会の活動方針は出たのか。また、備蓄する考えはあるのか。

答・総務課長 乳幼児の栄養支援の手引きが発行された。母乳の代替食品の一つとして液体ミルクが記載されている。調乳済み、滅菌済みのため、そのまま飲むことができる。また、備蓄については利便性、安全性、コスト的な部分を含め検討したい。

問・冬場は床が冷たく、体が冷えたり、トイレが近くなったりと、お年寄りにはベッドがあると寝起きがスムーズで利便性がある。大泉町では県内外の会社と協定を結んでいるが、段ボール箱ベッドについての協定を結ぶ考えはあるのか。

答・総務課長 段ボールベッドは、購入して備蓄するよりも、いざというときに提供したく協定のほうが保管場所等の面で有利と考えている。当町も協定の締結について検討していきたい。

一般質問

議会 2日目
3月6日(水)

④ 今村 好市 議員

合併協議が休止(中断)

今後のまちづくりの方針は！



今後合併協議はどうなるのか

問・町長は就任当初1市1町の合併は進めなかった。その根拠は何か。

答・町長 町民アンケートの結果、1市1町の合併は非常に低いパーセントであった。だから個人的には1市1町では進めなかった。

問・平成の合併で合併協議が休止になった事例は数多くあると思う。同じ枠組みで協議が再開され、合併した事例は全国でどれくらいあるのか。



答・企画財政課長 休止になつている群馬県内の合併協議会は、西邑楽と下仁田方面と聞いているが、調査をしていないので分からない。

答・副町長 全国的に見てもいったん休止した協議会が再開されて合併したという事例は承知をしていないので、枠組みが変わるといことが進むことになるのかと考えている。

問・企画推進論の町長は今後枠組みを変えてでも板倉町を合併の方向に持って

いくのか。

答・町長 板倉がいくら呼びかけても、合併をよしとしない考え方の首長に於いては、難しさを感じている。むしろ1市1町を進めることの方がよいと思う。

問・国が進めている周辺市町との広域連携(行政の広い範囲、教育も含めた連携)も検討しているのか。

答・副町長 具体的には検討していないのが現状。一部事務組合では、厚生病院、消防、衛生施設組合等がいわゆる広域連携の一つと認識している。

今後のまちづくりは

平成31年度の予算編成方針は

問・国が地方自治体に指針として示す地方財政計画で、特に今年度の10月に消費税が8%から10%に上がる。消費税の引き上げに合わせ、社会保障の充実、教育費の軽減、子育て支援等が町の平成31年度予算に反映されているのか。

答・企画財政課長 国の方針に基づいて、社会保障あるいは子育て支援等を取り入れていく。子育て支援では幼児教育の無償化等がある。

問・2月に議会報告会(懇談会)を実施した。参加し

た町民皆さまより、南・北小の活用について多くの提案や意見が出された。平成31年度予算1万円を何をするのか。

(提言)

○新年度予算は、1年間の町政運営の基本となるもの。町民に示す財政的裏づけを持った信憑性の高い1年間の計画書である。については、納税者である町民に予算内容をわかりやすく説明し、公平・公正な予算執行を願いたい。



議 会 日 誌

◆2月

- 8日 群馬東部水道企業団議会2月定例会
- 12日 板倉町役場新庁舎開庁式
- 15日 邑楽郡町議会議員研修会
- 16日 板倉町役場新庁舎開庁記念式典
- 19日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 21日 議会運営委員会
全員協議会
議員のみ協議会
板倉まつり運営委員会
- 23日 平成30年度議会報告会
- 25日 板倉町商工資金審査会
- 27日 例月出納検査

◆3月

- 1日 板倉高等学校卒業証書授与式
板倉町農業近代化資金審査委員会
- 5～14日 3月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会)
全員協議会
議員のみ協議会
議会広報特別委員会
- 13日 板倉中学校卒業式
- 16日 板倉消防団日本消防協会表彰旗受賞祝賀会
- 19日 板倉町総合農業振興協議会総会
- 20日 邑楽館林医療事務組合議会議員懇談会
- 22日 町内小学校卒業式
- 25日 板倉・北保育園卒園式
板倉町奨学資金貸与審査委員会
- 26日 板倉町社会福祉協議会評議員会
邑楽郡町村議会議長会定期総会
- 27日 一部事務組合議会3月定例会
例月出納検査

◆4月

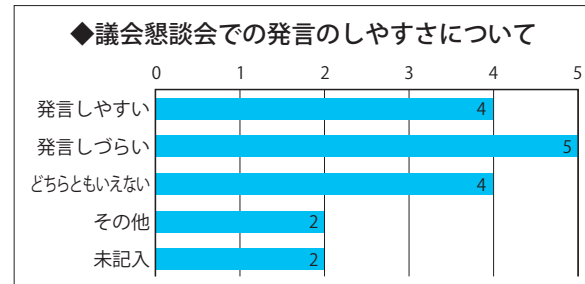
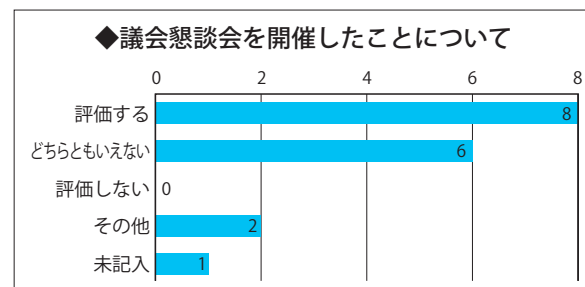
- 5日 板倉・北保育園入園式
- 7日 板倉消防団辞令交付式
- 8日 町内小学校入学式
板倉中学校入学式
- 9日 板倉高等学校入学式
- 10日 議会広報特別委員会
- 24日 例月出納検査
- 26日 百寿者慶祝訪問

◆5月

- 8日 初議会前の議員懇談会
- 14日 初議会(第1回議会臨時会)
議員のみ協議会
- 17日 神奈川県中郡二宮町議会行政視察受入
- 21日 議会運営委員会
全員協議会
議員のみ協議会
- 23日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
例月出納検査
- 27日 群馬県町村議会議長会理事会
- 28日 全国町村議会議長・副議長研修会
- 29日 全員協議会
板倉まつり運営委員会
- 30日・31日 群馬県町村議会議長会臨時総会
群馬県町村議会議長・事務局長研修会
- 31日 福島県田村郡小野町議会行政視察受入



アンケート結果(抜粋)



◆アンケートの意見(抜粋)

- * 参加人数が少ないのにはビックリしました。町民が無関心すぎることに議会も考えてもらいたい。
- * 午後6時からではなく、主婦も参加できる時間に
- * 地区ごとの開催へ
- * 合併協議中に議会と町民との懇談をすべきであった。



◆行政視察の受け入れ
月日 5月17日(金)
議会名 神奈川県二宮町議会
議員11名
内容 新庁舎竣工までの経緯と新機能について

平成30年度 議会報告会 議会懇談会が開催されました

平成31年2月23日(土)午後6時から、役場新庁舎の大会議室を会場に、「町民と歩む・開かれた議会を目指して」と題して、平成30年度議会報告会(議会懇談会)が開催されました。今回で5回目となる議会報告会では、議員と町民との懇談を中心に3つのテーマに沿って、意見交換を行いました。ご出席いただいた皆さまから多くの意見をお聞かせいただくことで、町の課題を再確認する貴重な機会となりました。ご多用の中、ご参加いただきました皆さまに、心より感謝を申し上げます。

- ◆テーマ ①小学校廃校後の利活用について ②合併について ③防災について

◆懇談会の主な内容

○小学校廃校後の利活用について

《町民》

小学校廃校後の利活用については、現段階でどのような案が出ているのか。また、廃校後の管理は町が行うことになるのか。

《議員》

利活用については、今後、町民、有識者等を含めた検討委員会ができるのではないかと感じる。内部での検討は始まっているが、現段階では決まっていない。閉校後の管理は町の施設ということなので、町が行うことになる。当面、体育館と校庭の利用は地域に開放していくことがよいかと考えているので、校舎の利用については今後の課題であると感じている。

○防災について

《町民》

災害時で最も大切なことは自助である。自ら率先して行政に近寄っていくことがよいと感じている。災害のイメージシートというものがあり、被災した状況を時系列で想定しておくというものがある。各家庭、その時々ケースバイケースで避難方法が異なってくるので、被災

状況を事前にイメージしておくことが大切だと思う。

《議員》

基本的には自助であると感じている。国土交通省においてもタイムライン(防災行動計画)の策定を推奨している。河川の水位がどのような状態になったら、どのように行動をするのかというものである。避難行動に関しては、家族構成によっても異なってくるので、タイムラインを策定していくことがよいのではないかと感じている。

《町民》

防災ラジオの活用方法は決まっているのか。

《議員》

地震の場合と水害の場合があるので、マニュアルに基づき、早い段階から伝達をするようになると思う。

○その他

出席した町民から、「板倉町の基幹産業は農業であり、儲かる農業のためには農地の集積を行い、コストを下げることが大切であると思う。議員の考えを聴きたい。」との質問があり、全議員が板倉町の農業について意見を述べました。



邑楽郡町議会議員研修会

2月15日(金)、ジョイハウス(館林市)において、邑楽郡町村議会議長会主催による邑楽郡町議会議員研修会が開催されました。研修会では、弁護士の神尾真澄氏と大塚晃央氏を講師にお招きし、『ハラスメントに関するリスク管理』と題して講演をいただきました。講演では、パワハラやセクハラなどのハラスメント行為が、どのような場合に違法となるのかなど、民事的、刑事的な視点から実演も交えて、分かりやすくご説明をいただき、有意義な研修会となりました。

板

倉町への移住の促進

受入体制の充実

朝日野 三浦忠夫さん



越谷市より移住して十年余り。この間、板倉町は千人以上人口が減少しました。渡良瀬遊水地をはじめとする風光明媚な板倉は、心癒される地です。更にキュウリの生産は全国トップクラス。更なるPRに努め、人口流入を図ることが必要不可欠です。併せて町の受入体制の充実、サービスの向上が肝要と考えます。

具体的には、窓口・電話などの対応業務です。
一、 対応に活気がある
二、 正確な事務処理
三、 迅速な対応
の3点が極めて重要です。
役場の業務はサービス業と考えています。住民の立場で業務を遂行していただくよう、期待します。折しも新庁舎に移転したこの機会に、他の市町村にも注目されるサービス向上の指向を切に望みます。

進

化する農業モデルを板倉町から

人が住み着く街づくりを

大字大高嶋 中山宏二さん



縁があり板倉町に来てはや7年が過ぎようとしています。私の生まれ故郷と比べ、海と川の違いはあれども緑と水に囲

まれた豊かなこの土地で地域の皆さまのご厚意に支えられ、家族ともども充実した毎日を送っています。少子高齢化という言葉はもう何年も前から言われ続けている事ですが、その波は着実に進み、待つてはくれません。
ここ最近、スマート農業の実証を行う会社の開発に協力し、人が住み着く町へと転換すべきではないでしょうか。

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。なお、定例会は下記のとおり開催される予定です。

◆ 6月議会定例会（予定）

- 会期 6月5日(水)～6月11日(火)
- 議事 (1) 条例改正などの議案審議・採決
(2) 補正予算の審議・採決
(3) 一般質問

※詳しい日程等については、議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先
議会事務局 電話82-1111(内線701) 82-6154(直通)

編集後記

探査機はやぶさ2が2月22日小惑星「りゅうぐう」への着陸に成功した。りゅうぐうは太陽系が誕生した約46億年前の状態を保っていると考え、生命のもとになる水や有機物を含む岩石が多いと考えられ、それを持ち帰ることにある。地球は誕生当初どうなるに溶けた高温のマグマで、水や生命体は存在しなかったと考えられる。やがてゆっくりと冷えて固まった地球に水や有機物を含んだ隕石が降りそそぎ、約40億年前に最初の細胞が生まれ、さまざまに形に進化したという見方が有力な仮説になってきている。つまり私たちは宇宙の彼方から舞い降りてきたのだらうか。あなたは聞いたことがあるでしょうか。「私たちはどこから来て、どこへ行くか」としていいのか」ということ。

(本間清記)